

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

回次	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
決算年月	平成25年3月	平成26年3月	平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月
売上高 (百万円)	108,141	114,904	99,554	94,476	76,668
経常利益又は 経常損失(△) (百万円)	10,268	9,765	5,491	1,380	△9,068
親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△) (百万円)	4,720	5,370	3,018	118	△12,483
包括利益 (百万円)	5,204	5,583	3,034	159	△13,159
純資産額 (百万円)	55,098	58,753	60,246	58,291	43,227
総資産額 (百万円)	106,628	104,869	110,316	92,478	80,397
1株当たり純資産額 (円)	1,644.15	1,756.27	1,792.83	1,726.88	1,272.48
1株当たり当期純利益 金額又は1株当たり当 期純損失金額(△) (円)	142.27	161.83	90.97	3.58	△376.19
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 金額 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	51.2	55.6	53.9	62.0	52.5
自己資本利益率 (%)	8.9	9.5	5.1	0.2	△25.1
株価収益率 (倍)	10.9	9.3	20.1	525.4	△3.1
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	13,570	16,322	△9,086	13,353	△7,319
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△6,263	△8,018	△6,297	△2,191	△3,927
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△2,277	△2,018	1,624	5,214	2,136
現金及び現金同等物の 期末残高 (百万円)	23,309	29,583	15,823	32,200	23,090
従業員数 〔外、平均 臨時雇用者数〕 (名)	1,416 〔1,071〕	1,588 〔1,290〕	1,716 〔1,173〕	1,845 〔915〕	1,713 〔853〕

(注) 1 売上高には消費税等は含まれていません。

2 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、第25～28期は潜在株式が存在しないため、第29期は潜在株式が存在せず、1株当たり当期純損失を計上しているため記載していません。

3 平成24年8月23日開催の取締役会決議に基づき、平成24年10月1日付をもって、普通株式1株を100株に分割するとともに、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しました。これにより、第25期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しています。

(2) 提出会社の経営指標等

回次	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
決算年月	平成25年 3 月	平成26年 3 月	平成27年 3 月	平成28年 3 月	平成29年 3 月
売上高 (百万円)	97,301	103,572	87,221	83,829	64,155
経常利益又は 経常損失(△) (百万円)	10,219	9,246	4,431	1,401	△5,213
当期純利益又は当期 純損失(△) (百万円)	6,083	4,582	1,855	△137	△13,559
資本金 (百万円)	7,948	7,948	7,948	7,948	7,948
発行済株式総数 (株)	34,700,000	34,700,000	34,700,000	34,700,000	34,700,000
純資産額 (百万円)	57,774	60,830	60,862	58,441	42,246
総資産額 (百万円)	105,898	104,388	109,097	90,673	76,013
1株当たり純資産額 (円)	1,741.05	1,833.14	1,834.09	1,761.16	1,273.10
1株当たり配当額 (内1株当たり 中間配当額) (円)	50 (25)	50 (25)	60 (25)	50 (25)	50 (25)
1株当たり当期純利益 金額又は1株当たり当 期純損失金額(△) (円)	183.33	138.09	55.91	△4.13	△408.63
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 金額 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	54.6	58.3	55.8	64.5	55.6
自己資本利益率 (%)	11.0	7.7	3.0	△0.2	△26.9
株価収益率 (倍)	8.4	10.9	32.7	△455.1	△2.8
配当性向 (%)	27.3	36.2	107.3	—	—
従業員数 〔外、平均 臨時雇用者数〕 (名)	671 〔 — 〕	770 〔 70 〕	856 〔 71 〕	835 〔 56 〕	784 〔 52 〕

(注) 1 売上高には消費税等は含まれていません。

2 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、第25～27期は潜在株式が存在しないため、第28期及び第29期は潜在株式が存在せず、1株当たり当期純損失を計上しているため記載していません。

3 平成24年8月23日開催の取締役会決議に基づき、平成24年10月1日付をもって、普通株式1株を100株に分割するとともに、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しました。これにより、第25期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しています。また、第25期以降の1株当たり配当額については、当該株式分割を考慮した額を記載しています。

4 平成27年3月期の1株当たり配当額60円には、記念配当10円を含んでいます。

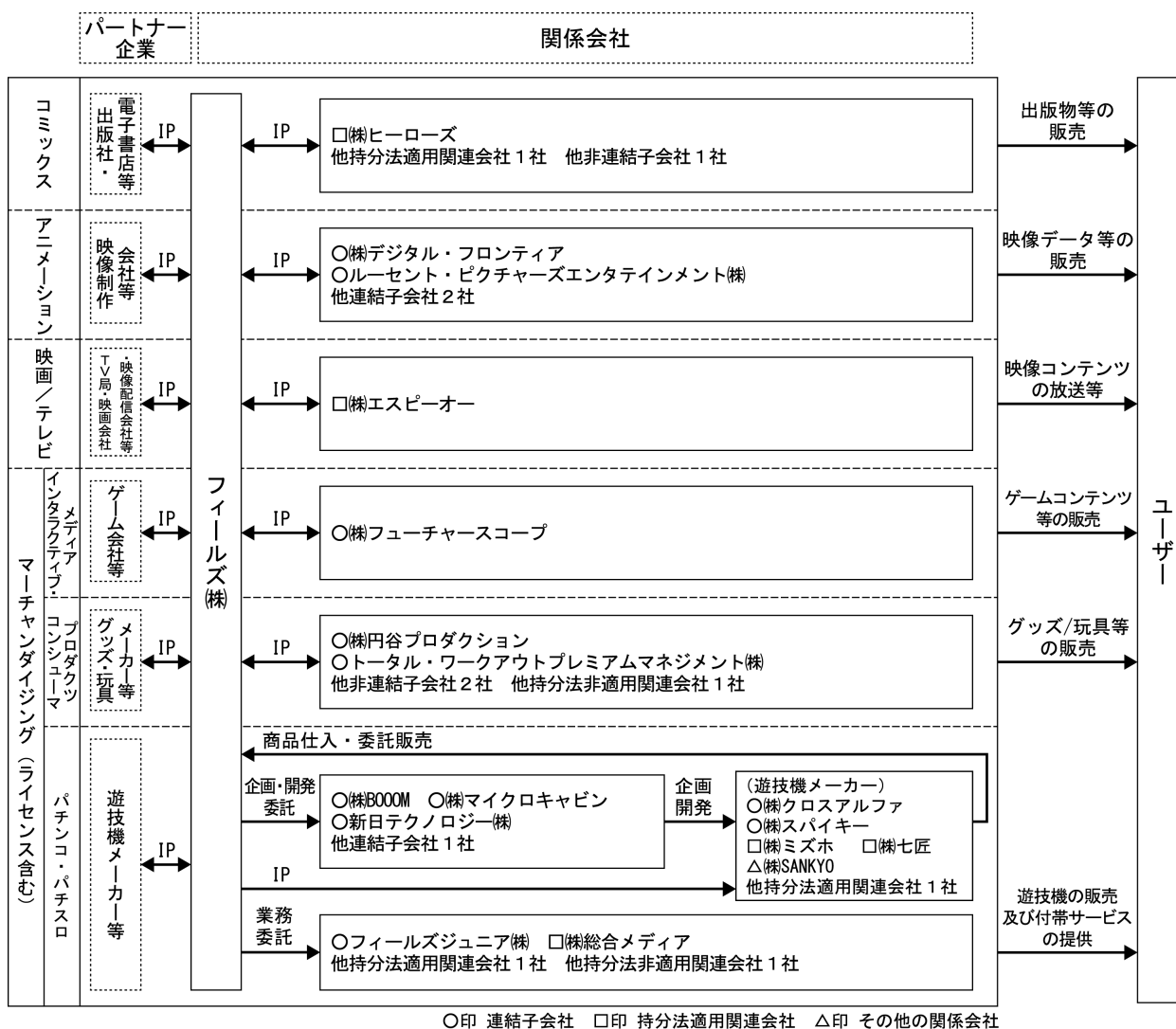
2 【沿革】

年月	沿革
昭和63年 6月	愛知県名古屋市長区に、遊技機の販売及び製鉄原料の販売を目的として株式会社東洋商事を設立
平成11年 1月	ISO9002取得(販売部門) (平成24年12月にISO9001に移行)
平成13年 6月	「TOTAL Workout」フィットネスクラブ営業開始
平成13年10月	会社分割(新設分割)を行い、新設会社(株式会社東洋商事)に製鉄原料部門等を移管 当社は商号をフィールズ株式会社に変更するとともに、本社を東京都港区に移転
平成14年 3月	有限会社セリオ(現、フィールズジュニア株式会社)を株式取得により子会社化 セガサミーグループ 株式会社ロデオを株式取得により関連会社化
平成15年 1月	株式会社デジタルロード(現、ルーセント・ピクチャーズエンタテインメント株式会社)を 子会社として設立
平成15年 3月	JASDAQ市場に上場
平成15年11月	SANKYOグループ 株式会社ダイドー(現、株式会社ビスティ)と遊技機販売取引基本契約を締結
平成16年 6月	一般公募増資により資本金を7,948百万円へ増資
平成16年 7月	東京都渋谷区に本店移転
平成16年12月	株式会社ジャスダック証券取引所(現、東京証券取引所JASDAQ(スタンダード))に株式を上場 遊技機「エヴァンゲリオン」シリーズ販売開始
平成17年10月	「ゲーミング&エンタテインメント ビジネススクール」開校
平成18年10月	株式会社フューチャースコープを子会社として設立
平成20年 1月	新日テクノロジー株式会社を株式取得により子会社化
平成20年 2月	京楽産業.株式会社と共同事業契約を締結
平成21年 5月	株式会社F(現、株式会社B000M)を子会社として設立
平成21年11月	カプコングループ 株式会社エンターライズと取引基本契約を締結
平成22年 4月	株式会社円谷プロダクションを株式取得により子会社化 株式会社デジタル・フロンティアを株式取得により子会社化
平成23年 1月	株式会社マイクロキャビンを株式取得により子会社化
平成23年 5月	トータル・ワークアウトプレミアムマネジメント株式会社を子会社として設立
平成23年11月	株式会社小学館クリエイティブとの協業により、コミック誌「月刊ヒーローズ」創刊
平成24年 2月	株式会社ミズホの第三者割当増資の引受により関連会社化 株式会社ユニバーサルエンターテインメントと株主間契約を締結
平成25年 4月	Daiichiグループ 株式会社ディ・ライトと業務提携契約を締結
平成26年 1月	株式会社七匠の第三者割当増資の引受により関連会社化
平成26年 4月	株式会社七匠と業務提携契約を締結
平成27年 2月	京楽グループ 株式会社オッカー.と取引基本契約を締結
平成27年 4月	東京証券取引所市場第一部へ上場市場を変更
平成27年 5月	株式会社アリストクラートテクノロジーズ(現、株式会社クロスアルファ)を株式取得により 子会社化 株式会社スパイキーを株式会社アリストクラートテクノロジーズ株式取得により子会社化
平成27年 6月	株式会社大一商会と業務提携契約を締結

3 【事業の内容】

当社グループ（当社及び関係会社）は、フィールズ株式会社（以下「当社」という。）、子会社17社、関連会社10社及びその他の関係会社1社により構成されています。

当社グループの事業に係る位置付け並びに事業の系統図は、以下の通りです。



当社グループは、キャラクターやストーリー等のIP（知的財産）を主軸とした事業を行っています。基盤となる企画・プロデュース力をコアとした事業バリューチェーンを再構築して、「IP×事業プラットフォーム」というマトリクス構造の事業モデルを遂行し、収益拡大を図っていきます。

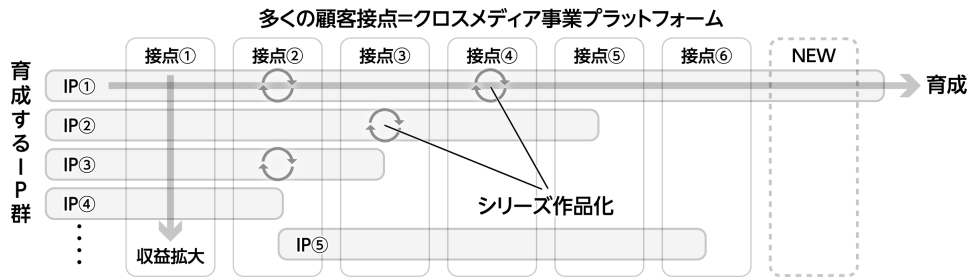
< [IP×事業プラットフォーム] のマトリクスモデル >

IPの広がり、IPの顧客接点である事業プラットフォームの広がり及び積み上げの相乗効果により、収益の拡大を図ります。各事業プラットフォームとの接点ではIPのシリーズ化を図り、さらなるIPの育成を推進します。

またIP戦略として、「リセント/カレントIP」を第一に、「レジェンドIP」も加えた育成するIP群のリポートに取り組み、これらのクロスメディア展開を推進していきます。

(注) リセント/カレントIP：若～青年層に広く浸透しているIP、レジェンドIP：中高年層に広く浸透しているIP。

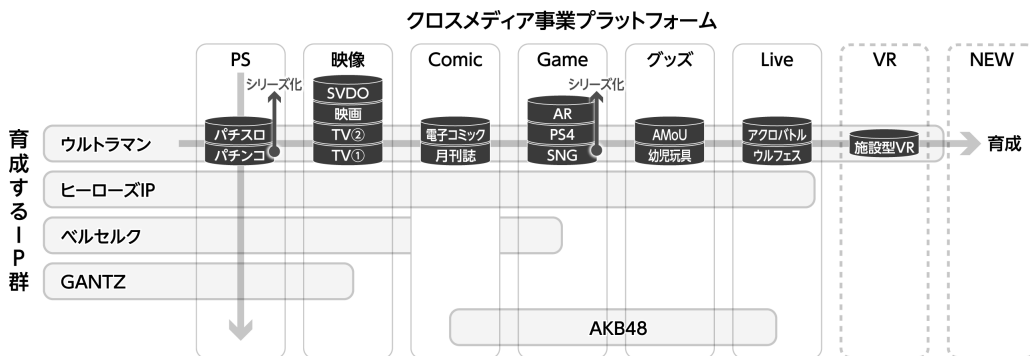
リポート：原作の連続性を捨て、設定やストーリーを一から仕切り直し新たに制作すること。



<マトリクスモデルをベースとした展開イメージ>

各IPにおいて事業プラットフォームの広がりと同時に、各事業プラットフォームの接点における積み上げの展開を推進し、シリーズ化を図っていきます。

例えば、映像ではテレビや映画、SVOD（Subscription Video On Demand：定額制動画配信）等、コミックでは紙媒体や電子配信、ゲームではソーシャルゲームやパッケージソフトの展開等、顧客接点を豊富に創出することで、さらなるIPの育成、収益拡大を図っていきます。



なお、主要な事業プラットフォームであるパチンコ・パチスロにおける主な流通形態、及び売上等の計上方法については、以下の通りとなっています。

① 「代理店販売」と「代行店販売」

パチンコ・パチスロ遊技機の販売につきましては、当社支店の営業活動により直接パチンコホールへ販売する「代理店販売」方法と、販売の仲介を行う「代行店販売」方法があります。

代理店販売は、当社が遊技機メーカーより遊技機を仕入れ、遊技機使用者（パチンコホール）に販売するものです。これまで主にパチスロ遊技機を中心に代理店販売を行っていましたが、より機動的・効率的に商品展開を実施すべく、平成27年3月期よりパチンコ遊技機についても一部代理店販売を開始しました。

代行店販売は、当社が遊技機メーカーの販売代行店（販売仲介業者）として、(a)遊技機メーカーとパチンコホールの売買契約書作成業務代行、(b)販売代金の集金代行、(c)開店準備全般に関わる業務代行、(d)アフターサービスに関わる業務代行等、を行うことにより、遊技機メーカーより代行手数料を得るものです。

なお、代理店販売、代行店販売ともに、当社の代行店（販売仲介・2次）をさらに経由して販売する場合があります。物流面では、代理店販売、代行店販売ともに、遊技機は遊技機メーカーより直接パチンコホールに納入されます。代理店販売においてもこのような方式を採用しているのは、当社の物流コスト負担の軽減のほか、遊技機の不正改造を防止する目的から、遊技機を遊技機メーカー指定の運送業者により配送するためです。

② 売上等の計上方法について

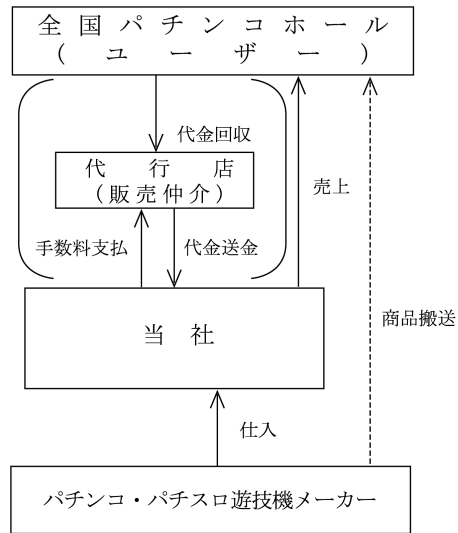
代理店販売と代行店販売では、売上等の計上方法に以下のような相違があります。

代理店販売につきましては、売上高は当社がパチンコホールに販売した遊技機の代金が計上され、売上計上基準は、遊技機を出荷した時点です。売上原価には遊技機メーカーからの遊技機の仕入代金のほか、当社の代行店をさらに経由して販売する場合には、当該代行店に支払う代行手数料が計上されます。

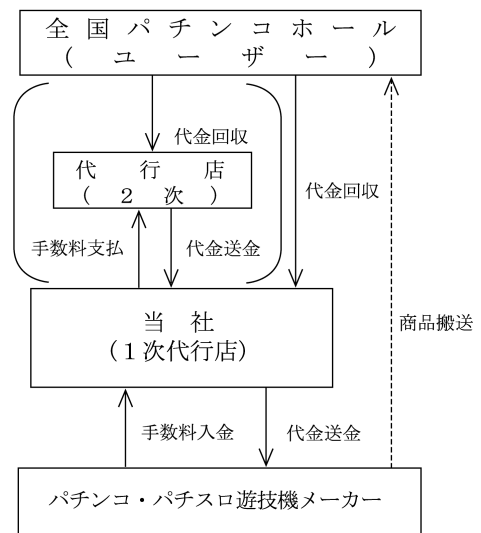
一方、代行店販売につきましては、売上高は遊技機を販売した際に遊技機メーカーから受け取る代行手数料が計上され、売上計上基準は、遊技機がパチンコホールへ納品され遊技機メーカーへ遊技機代金が納入された時点で

す。売上原価は、当社が直接パチンコホールに販売する場合には計上はありませんが、当社の代行店をさらに經由して販売した場合には、当該代行店に支払う代行手数料が計上されます。

代理店販売



代行店販売



(注) 代行店販売取引につきましては、パチンコホールより代金を回収し、その代金を遊技機メーカーに納入し（この時点で売上を計上）、手数料が遊技機メーカーより入金されます。

4 【関係会社の状況】

名称	住所	資本金 (百万円)	主要な事業の内容	議決権の所有 (又は被所有) 割合 (%)	関係内容
(連結子会社)					
フィールズジュニア株式会社	東京都渋谷区	10	遊技機のメンテナンス等	100.0	役員の兼任 1名 遊技機の設置・メンテナ ナンス等
新日テクノロジー株式会社	東京都目黒区	10	遊技機の開発	100.0	企画に関する業務委託
株式会社マイクロキャビン	三重県四日市市	10	遊技機用ソフトウェアの企画・開 発	100.0	企画に関する業務委託
ルーセント・ピクチャーズ エンタテインメント株式会社	東京都渋谷区	10	アニメーションの企画・制作 及びプロデュース	100.0	役員の兼任 3名 資金の援助
株式会社クロスアルファ	東京都渋谷区	10	遊技機の開発・製造	100.0	役員の兼任 1名
株式会社スパイキー	東京都渋谷区	100	遊技機の開発・製造	100.0 [100.0]	役員の兼任 1名
トータル・ワークアウトプレミアム マネジメント株式会社	東京都渋谷区	5	フィットネスクラブの経営・運営	95.0	役員の兼任 1名 店舗運営に関する業務 委託
株式会社フューチャースコープ	東京都目黒区	60	モバイルコンテンツの提供サービ ス及び通信販売	94.4	役員の兼任 1名 企画に関する業務委託 資金の援助
株式会社デジタル・フロンティア	東京都渋谷区	31	コンピュータ・グラフィックス の企画・制作等	86.9	役員の兼任 2名 企画に関する業務委託 資金の援助
株式会社B000M	東京都渋谷区	10	遊技機の企画・開発	51.0	役員の兼任 2名 企画に関する業務委託
株式会社円谷プロダクション	東京都渋谷区	310	映画・テレビ番組の企画・製作 キャラクター商品の企画・製作 ・販売	51.0	役員の兼任 3名 商品化権の仕入
(他3社)	—	—	—	—	—
(持分法適用関連会社)					
株式会社ミズホ	東京都江東区	10	遊技機の企画・開発・製造・販売	49.7	役員の兼任 1名 商品化権の販売 資金の援助
株式会社ヒーローズ	東京都渋谷区	10	コミック誌・キャラクターコンテ ンツの企画・運営・製作	49.0	役員の兼任 2名 資金の援助 商品化権の仕入
株式会社七匠	東京都渋谷区	40	遊技機の企画・開発・製造・販売	38.9	役員の兼任 1名 資金の援助 遊技機の仕入 商品化権の販売
株式会社総合メディア	東京都渋谷区	10	セールスプロモーションに関する 企画・制作	35.0	役員の兼任 1名
株式会社エスピーオー	東京都中央区	371	映画の企画・制作・配給等	31.8	役員の兼任 1名
(他3社)	—	—	—	—	—
(その他の関係会社)					
株式会社SANKYO(注)1	東京都渋谷区	14,840	遊技機の製造及び販売	(被所有) 15.7	遊技機の代行店 販売手数料収入

(注) 1. 有価証券報告書提出会社です。

2. 議決権の所有（又は被所有）割合欄の〔 〕内書は間接所有です。

5 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成29年3月31日現在

従業員数(名)
1,713 [853]

- (注) 1 従業員数は就業人員数（当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む）であり、臨時雇用者数（パート、アルバイト、嘱託、契約社員を含み、派遣社員を除く）は年間の平均人員を〔 〕外数で記載しています。
- 2 前連結会計年度末に比べ従業員数が132名減少していますが、これは主に連結子会社であった株式会社ネクステンタテインメントが解散したため、同じく連結子会社であったFly Studio SDN. BHD. の全ての株式を売却したことにより、連結の範囲から除外したためです。
- 3 当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載していません。

(2) 提出会社の状況

平成29年3月31日現在

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)	平均年間給与(千円)
784 [52]	36.6	9.1	6,631

- (注) 1 従業員数は就業人員数（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む）であり、臨時雇用者数（パート、アルバイト、嘱託、契約社員を含み、派遣社員を除く）は年間の平均人員を〔 〕外数で記載しています。
- 2 平均年間給与は、賞与及び基準外賃金を含んでいます。
- 3 当社は単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載していません。

(3) 労働組合の状況

労働組合は結成されていませんが、労使関係は良好であり、特記すべき事項はありません。